

感染予防ガイドライン

西播高体連バレーボール部

1. 大会参加について

- ① 大会参加にあたって、顧問は、生徒の健康状態を 2 週間以前から観察し、体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、参加を控えるよう配慮すること。
- ② マスクを持参すること（更衣時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ タオル、スポーツドリンクの共用はしないこと。
- ⑤ 他のチーム、スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること。
- ⑥ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

2. 大会会場について

- ① 消毒液は各チームで必ず持参する。
- ② 体育館の上窓、下窓は開放する。プレーに支障がある場合は暗幕をする。その場合、試合間等、適時に暗幕を開け換気をする。
- ③ ベンチの椅子は 5 脚とし、ベンチ端から壁までをアップゾーンとする。

3. 大会運営について

- ① 無観客試合を原則とし、保護者の観戦は控えて頂き、試合をしているチームの登録外生徒のみの観戦とする。応援はマスクを着用し、拍手のみで、声援は禁止する。
- ② 無観客試合のため、保護者は原則、学校敷地内の立ち入りを禁止とする。
- ③ 試合の開始、終了時、プロトコル時の握手はしない。
- ④ フロアの空きコートは、次の試合の 2 チームのみ使用可とする。ただしボールの使用は不可。
- ⑤ 朝の割当練習、試合間は、時間をとり、密にならないようにチームの入替を行う。
- ⑥ 割当練習、合同練習はスタッフ 3 名 + 登録選手 14 名 + 3 名を上限とする。
- ⑦ 試合間に試合球の消毒をする。
- ⑧ 線審のフラッグ等、試合で使用する備品類の消毒を適時に行う。
- ⑨ 審判は電子ホイッスルで行う。電子ホイッスルは各チームで準備する。
- ⑩ チーム受付時、必ずマスクを着用し、斜めにずれる等、対面にならないように配慮する。
- ⑪ 本部席は、原則役員・顧問のみとし、密にならないよう注意する。

4. 参加者が遵守すべき事項

- ① 試合中以外は、マスクを着用する。控え選手の声援は禁止する。
控え選手、チームスタッフはマスクの着用を徹底する。
- ② 前割当練習、前試合終了後、消毒が終わるまで試合コートに入らないこと。
また、待機中に入口付近で密にならないよう注意する。
- ③ 更衣室は更衣時のみに使用し、待機場所を屋外にし、密にならないよう注意する。
- ④ ミーティング・食事・休憩時に、「密閉・密集・密接」にならないよう注意する。
- ⑤ 各チームで除菌シート等を持参し、チェンジコート・試合終了時のベンチ等、使用した場所の消毒に努めること。
- ⑥ 会場には、設定時間を参考に適切な時間に来館し、試合・コートオフィシャル後は、速やかに会場から退館すること。
- ⑦ ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。
- ⑧ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等を支部委員長に報告すること。

上記、「感染予防ガイドライン」をよくご確認いただき、各チーム責任者は、別紙チェックシート①を大会初日、②を毎日、受付時に提出してください。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、制限ある大会運営になることをご理解ください。